

# 市立伊勢総合病院経営強化プラン取組状況報告書

点検・評価対象年度：令和6年度（2024年度）

市立伊勢総合病院

## 目 次

総括	・・・	1p
1. 役割・機能の最適化と連携の強化		
(1) 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割	・・・	2p
(2) 地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき役割・機能	・・・	2p
(3) 機能分化・連携強化	・・・	3p
(4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標		
① 医療機能に係るもの	・・・	3p
② 医療の質に係るもの	・・・	4p
③ 連携の強化等に係るもの	・・・	4p
(5) 一般会計負担の考え方	・・・	4p
2. 医師・看護師等の確保と働き方改革		
(1) 医師・看護師等の確保	・・・	5p
(2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保	・・・	5p
(3) 医師の働き方改革への対応	・・・	6p
3. 経営形態の見直し	・・・	6p
4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	・・・	6p
5. 施設・設備の最適化		
(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制	・・・	7p
(2) デジタル化への対応	・・・	7p
6. 経営効率化の取組	・・・	8p
(1) 経営指標	・・・	9p
(2) 診療指標	・・・	10p
7. 収支計画		
(1) 収益的収支	・・・	11p
(2) 資本的収支	・・・	12p
(3) 繰入金の見通し	・・・	13p

## 総括

当院は、二次救急医療をはじめとする地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきました。

令和6年度は、ホスピス病床の一部を地域包括ケア病床へ転換するなど、地域に必要な急性期機能を担いながら、急性期から回復期・慢性期まで、切れ目のない医療の提供を行うとともに、健診センターでの予防医学に取り組みました。また、安全・安心で高度な医療を提供するため、大動脈内バルーンポンプ及び手術用ナビゲーションユニット等の整備を行いました。

利用状況は、入院患者数 86,191人（1日平均 236人）、外来患者数 126,765人（1日平均 522人）健診者数 14,908人（1日平均 53人）となりました。

前年度と比較すると、入院患者数で 1,625人増加、外来患者数で 1,533人、健診者数で 103人それぞれ減少しました。

収支状況は、収益的収支で、消費税を除き収入額 8,452,692,090円（対前年度比 2.8%減）に対して、支出額 9,010,078,908円（対前年度比 1.5%増）となり、差引 577,386,818円の純損失となりました。

前年度と比較すると、収入では患者数の増加や診療単価の上昇により、入院収益及び健診収益で増収となりましたが、外来収益及び新型コロナウイルス感染症対策に関連した補助金では減収となりました。一方、支出では、給与改定や物価高騰の影響等により、給与費、材料費及び経費で増額となりました。

## 1. 役割・機能の最適化と連携の強化

### (1) 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

地域に必要な急性期機能を担いながら、急性期から回復期・慢性期まで、切れ目のない医療の提供を行うとともに、健診センターでは予防医学の充実を図りました。また、災害拠点病院としての役割を果たすため、関係機関と連携し、総合防災訓練を実施するなどして、運営体制等の強化に取り組みました。

今後においても、本医療圏の医療ニーズや医療制度の状況を鑑みて、引き続き、医療機能の充実を図ります。

(令和5年4月から、二次救急医療の輪番当番日が週1回から週2回へ変更になることに伴い、更なる救急医療体制の充実を図るため、新たに救急センターを設置しました。)

### (2) 地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき役割・機能

当院の患者支援センター（社会福祉士5名・看護職員3名）の早期介入により、地域の医療機関等の役割に応じた円滑な連携に努め、急性期から回復期・慢性期までの医療の提供を行い、在宅復帰の支援に取り組みました。

また、地域包括ケアシステム構築に向けた役割を担うため、令和6年4月から、ホスピス病床（慢性期病床）9床を地域包括ケア病床（回復期病床）に転換し、転換後の機能別病床数で運営しています。

#### 【機能別病床数】

区 分	転換前	転換後	増 減
高度急性期 (一般病床)	20	20	0
急性期 (一般病床)	160	160	0
回復期 (地域包括ケア病床)	100 ( 60 )	109 ( 69 )	9 ( 9 )
(回復期リハビリテーション床)	( 40 )	( 40 )	( 0 )
慢性期 (ホスピス病床)	20	11	△9
合 計	300	300	0

## 【患者相談・支援対応件数】

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
在宅復帰(件)	-	-	3,750	4,053	4,249	4,504	4,405
施設入所・転院(件)	-	-	5,527	5,772	6,387	6,253	5,628
入院相談(件)	-	-	1,234	1,371	1,371	1,316	1,058
外来相談(件)	-	-	1,097	1,442	1,661	1,718	1,644
経済的問題(件)	-	-	415	352	349	334	282
その他	-	-	1,061	1,463	1,694	2,079	2,142
合計	-	8,658	13,084	14,453	15,711	16,204	15,159

## (3) 機能分化・連携強化

紹介患者の予約受付時間を引き続き、18時30分まで1時間30分延長し、また、更なる連携強化のため定期的に地域の医療機関等の訪問を行いました。

地域の医療従事者の質の向上のため、研修会をオンライン形式、対面形式、研修動画の配信を併用し開催しました。

リハビリテーション科医師・専任の社会福祉士等が大腿骨頸部骨折地域連携パス連携会議（まいわし医療連携会）に出席し、紹介元医療機関及び地域の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関と連携し、治療経過の共有を行い、切れ目のない質の高い医療の提供に努めました。

## 【紹介患者数・研修回数】

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
紹介患者数(初・再診含む) (人)	-	12,367	10,527	10,683	11,179	11,499	11,794
うち入院患者数 (人)	-	2,031	1,774	2,024	2,037	2,271	2,194
研修回数(回)	-	14	9	13	14	14	14

## (4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

## ① 医療機能に係るもの

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
							計画	増減	
救急センター受入患者数 (人)	○	4,548	4,133	4,047	4,724	6,426	6,224	6,450	△226
うち入院患者数 (人)	-	1,488	1,423	1,433	1,699	2,350	2,433	-	-
救急車受入件数(件)	○	1,836	1,802	1,788	2,471	3,300	3,418	3,200	218
うち入院患者数 (人)	-	863	825	847	1,158	1,558	1,702	-	-
手術件数(件)	○	3,468	3,318	3,406	3,816	3,924	4,057	4,000	57
うち全身麻酔手術 件数(件)	-	-	-	797	765	773	862	-	-

② 医療の質に係るもの

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
							計画	増減	
在宅復帰率(一般病床)(%)	○	98.3	98.4	98.1	98.1	98.1	98.2	97.8	0.4
平均在院日数(全体)(日)	-	15.0	14.3	14.0	13.5	12.8	12.6	-	-
一般病床	○	11.9	12.0	11.9	11.5	10.7	10.4	10.7	△0.3
地域包括ケア病床	-	17.5	13.0	12.9	12.4	13.7	13.8	-	-
回復期リハビリ テーション病床	-	43.5	42.8	39.0	39.2	37.4	36.1	-	-
ホスピス病床	-	98.2	116.0	96.7	106.9	33.0	95.2	-	-

③ 連携の強化等に係るもの

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
							計画	増減	
紹介率(%)	○	77.5	81.6	83.9	90.7	94.0	92.7	93.0	△0.3
逆紹介率(%)	○	81.8	93.6	91.4	97.9	106.6	106.0	100.0	6.0

(5) 一般会計負担の考え方

【繰入金の推移】

(単位：百万円)

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
							計画	増減	
収益的収入	○	785	1,019	960	905	918	787	681	106
うち基準内繰入金	○	485	493	520	543	539	651	545	106
うち基準外繰入金	○	300	526	440	362	379	136	136	0
資本的収入	○	147	536	462	384	474	241	240	1
うち基準内繰入金	○	147	465	454	384	474	241	240	1
うち基準外繰入金	○	0	71	8	0	0	0	0	0
合計	○	932	1,555	1,422	1,289	1,392	1,028	921	107
うち基準内繰入金	○	632	958	974	927	1,013	892	785	107
うち基準外繰入金	○	300	597	448	362	379	136	136	0

## 2. 医師・看護師等の確保と働き方改革

### (1) 医師・看護師等の確保

関連大学等への医師派遣依頼のほか、奨学金制度の活用、寄附講座等の設置などに取り組み、医師・看護師の確保に努めました。

また、病院実習生・見学者の受入や医学生合同説明会へ参加しました。

医師・看護師の負担軽減計画及び医師の労働時間短縮計画の策定や、女性が働きやすい医療機関認証（継続認証）、院内保育所の充実などに取り組みました。

また、出産後、子育てに携われるよう、育児休業や時短勤務が行えるよう、勤務の調整に取り組みました。

#### 【医師数の推移（各年度末）】

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
常勤医師数	-	52	52	54	56	54	52
うち初期研修医	-	7	7	8	8	8	8

#### 【寄附講座等設置状況】

- ・ 藤田医科大学（連携リハビリテーション医学講座）  
設置期間：令和10年3月まで
- ・ 三重大学医学部附属病院（南勢地域医療学寄附研究部門）  
設置期間：令和10年3月まで

### (2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保

#### 【奨学金貸与者数の推移（各年4月1日時点）】

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
奨学金貸与者数	-	47	42	34	25	20	16
うち医学生	-	13	14	11	8	9	8
うち看護学生	-	34	28	23	17	11	8

#### 【実習生受入人数等の推移】

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
病院実習生受入数（医学生）	-	6	2	12	11	7	5
病院見学者数（医学生）	-	13	14	24	26	22	33
就職説明会参加回数	-	3	2	3	5	4	3

## 【医学生合同説明会等参加回数】

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
MMC三重県臨床研修合同 説明会	-	0	2	1	1	1	1
民間医局レジナビフェア等	-	3	0	2	4	3	2

## (3) 医師の働き方改革への対応

医師の業務負担の軽減等を図るため、医師をはじめとする必要な医療従事者の確保に努めました。なお、医師事務作業補助者については、令和6年9月に1名増員しました。

特定看護師等の配置によるタスクシフティングの検討を行いました。

(特定行為研修について、臨床検査技師・臨床工学技士は令和3年度から、診療放射線技師は令和4年度から順次受講しています。)

医師の働き改革に向けた取組の一つとして、勤務管理システムを導入するとともに、医師の負担軽減計画及び医師の労働時間短縮計画を策定しました。

## 3. 経営形態の見直し

現行の経営形態を継続し、自立的な病院経営に取り組みました。

## 4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新型コロナウイルス感染症対応で得た知見を活かして、引き続き、新興感染症拡大時等にも対応できるよう、対象患者の受入病床の設置を踏まえて、感染エリアのゾーニング等に必要な材料や備品等の整備に取り組みました。

感染拡大時を想定し、看護師1人が感染管理認定看護師の認定を受けました。

## 5. 施設・設備の最適化

### (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

現施設が急性期から回復期・慢性期機能までを担う医療機関として、その医療を発揮できるよう施設維持管理計画や点検結果等に基づき、費用対効果や必要性の検討を行い、施設の維持管理に取り組みました。

#### 【施設等維持管理計画】

区分	年度	記載 有無	令和6年度（2024年度）	
				実績
病院 施設 ・ 設備	手術室設備	○	-	-
	ナースコール設備	○	○	○
	医療ガス設備	○	-	○
	防災設備	○	○	-
	気送管設備	○	○	○
	自動扉設備	○	○	-
	UPS設備	○	-	-
医療情報システム	○	○	○	
医療機器 CT	○	-	-	

### (2) デジタル化への対応

近年、医療技術の急速な発展により、医療分野にもデジタル技術を積極的に活用した医療DXの推進が求められる中、マイナンバーカードを健康保険証として利用する仕組みが令和6年12月から本格運用となったことに伴い、その対応を行うとともに、ITシステムを活用した医療の質の向上や働き方改革の推進、病院経営の効率化に取り組みました。

また、情報セキュリティについては、ネットワークシステム更新にあわせて、最新の技術を導入するとともに、職員への研修を行い、ハード・ソフト両面からセキュリティ対策の向上に取り組みました。

#### 【RPA（Robotic Process Automation：定型的なパソコン操作を自動化する技術）の活用】

RPA（Robotic Process Automation）により、電子カルテに蓄積された電子データを自動抽出させ、その情報を活用し、業務の効率化や医療の質の向上（医療安全の向上）に取り組みました。

#### 【情報セキュリティの強化】

ハード面の対策として、無線通信のセキュリティについては、最新の暗号化技術を導入するとともに、ネットワーク内の通信を監視することで、不審な挙動があれば自動的に検知・遮断する仕組みを取り入れました。

ソフト面の対策として、職員へのセキュリティ研修やIT-BCP（情報システムに関する業務継続計画）に基づいた訓練を実施し、各種情報の取り扱いやコンピュータウイルス等に対する職員一人一人の意識の向上を図りました。

・その他、マイナ保険証の本格運用開始に対する対応や病床管理システムを導入しました。

## 6. 経営効率化の取組

### 【施設基準等の主な新規取得】

- ・ 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）（令和6年6月）
- ・ 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）（令和6年6月）
- ・ 入院ベースアップ評価料（医科）（歯科）（令和6年6月）
- ・ 診療録管理体制加算Ⅰ（令和6年6月）
- ・ 医療DX推進体制整備加算（令和6年6月）
- ・ 協力対象施設入所者入院加算（令和6年6月）
- ・ 歯科外来診療感染対策加算4（令和6年6月）
- ・ 歯科技工士連携加算Ⅰ及び光学印象歯科技工士連携加算（令和6年7月）
- ・ がん患者指導管理料ハ（令和6年12月）
- ・ 静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）（令和7年3月）
- ・ D P C 医療機関別係数 令和6年度末：1.5086、令和5年度末：1.4745、令和4年度末：1.4517

### 【資格取得者等】

- |               |    |             |    |
|---------------|----|-------------|----|
| ・ がん薬物療法認定薬剤師 | 1人 | ・ 感染管理認定看護師 | 1人 |
| ・ 診療情報管理士     | 1人 | ・ 医療経営士3級   | 4人 |

### 【健診センター】

受診者のニーズを的確に把握し、予約管理業務の効率的な運用に努め、主要検査の稼働率の向上に取り組みました。また、健康保険組合や企業等からの受入数の増加に取り組み、安定的な受診者の確保に努めました。

### 【職員給与費の削減・抑制】

職員の適正配置、業務の効率化、看護補助者及び医師事務作業補助者の活用、効率的な勤務形態の導入に取り組みました。

### 【材料費の削減・抑制】

現在使用中の材料と同等の品質・用途のもので、価格の低い材料への切り替えや容量の大きいもの、多いものへの切り替えを行い、単位当たりの価格の抑制に取り組みました。

### 【経費の削減・抑制】

光熱費：診療や療養環境に影響のない範囲での、冷暖房時の室温の適正化や照明の消灯等、また、電気・ガスの省エネ・省コスト対策について、E S 事業者と協力して、取り組みました。

消耗品費：容量の大きいもの、多いものへの切り替えを行い、単位当たりの価格の抑制に取り組みました。

委託費：廃棄物の分別方法を見直し、一部の廃棄物について、プラスチック容器から段ボール容器かつ、大容量のものに変更し、容器代及び運搬費の削減に取り組みました。

その他の経費についても、見直しを行い、削減・抑制に取り組みました。

## (1) 経営指標

年度 区分	記載 有無	令和	令和	令和	令和	令和	令和6年度（2024年度）		
		元年度 (2019年度)	2年度 (2020年度)	3年度 (2021年度)	4年度 (2022年度)	5年度 (2023年度)	計画	増減	
経常収支比率（％）	○	95.3	100.6	104.0	103.0	97.9	93.8	93.3	0.5
修正医業収支比率（％）	○	84.7	78.8	80.4	81.7	83.3	84.1	84.9	△0.8
資金不足比率（％）	○	-	-	-	-	-	-	-	-
職員給与費対医業収益比率 （％）	○	63.7	67.9	66.8	65.1	63.2	64.1	63.0	1.1
材料費対医業収益比率（％）	○	19.8	21.1	20.6	20.6	21.7	21.7	20.8	0.9
委託費対医業収益比率（％）	○	13.6	16.0	15.7	15.3	15.3	15.2	15.2	0.0
経費対医業収益比率（％）	-	17.9	20.3	19.6	20.2	19.7	19.9	20.5	△0.6

## ○経常収支比率（％）

（（医業収益＋健診収益＋医業外収益）÷（医業費用＋健診費用＋医業外費用））

医業費用・健診費用・医業外費用に対する医業収益・健診収益・医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標です。

➤他会計負担金（繰入金）が増加したことで、0.5ポイント計画を上回りました。

## ○修正医業収支比率（％）

（（医業収益＋健診収益－他会計負担金）÷（医業費用＋健診費用））

本業である医業活動から生じる医業・健診費用に対する医業・健診収益（他会計負担金を除く）の割合を示す指標です。

➤給与改定や物価高騰の影響等により、給与費及び材料費が増加したことで、0.8ポイント計画を下回りました。

## ○資金不足比率（％）

（資金不足額÷事業規模）※資金不足額＝（流動負債＋建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高－流動負債）－解消可能資金不足額

※資金不足が発生していない場合の表示は「－」となります。

## ○職員給与費対医業収益比率（％）

（医業収益、健診収益の中で職員給与費が占める割合を示す指標です。）

➤給与改定により、給与費が増加したことで、1.1ポイント計画を上回りました。

## ○材料費対医業収益比率（％）

（医業収益、健診収益の中で材料費が占める割合を示す指標です。）

➤物価高騰の影響等により、材料費のうち、診療材料費が増加したことで、0.9ポイント計画を上回りました。

## ○委託費対医業収益比率（％）

（医業収益、健診収益の中で経費のうち、委託費が占める割合を示す指標です。）

➤計画値となりました。

## ○経費対医業収益比率（％）

（医業収益、健診収益の中で経費が占める割合を示す指標です。）

➤電気料金及び消耗品費等が減少したことで、0.6ポイント計画を下回りました。

(2) 診療指標

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
							計 画	増 減	
1日平均入院患者数(人)	○	241.1	216.0	218.8	225.2	231.1	236.1	246.0	△9.9
一般病床	○	149.7	142.0	141.8	146.2	151.9	145.6	145.0	0.6
地域包括ケア病床	○	45.7	33.6	36.6	38.6	39.2	52.9	59.0	△6.1
回復期リハビリ テーション病床	○	36.2	32.8	34.1	33.6	32.5	32.2	34.0	△1.8
ホスピス病床	○	9.5	7.6	6.3	6.8	7.5	5.4	8.0	△2.6
病床利用率(%)	○	80.4	72.0	72.9	75.1	77.0	78.7	82.0	△3.3
一般病床	○	83.2	78.9	78.8	81.2	84.4	80.9	80.6	0.3
地域包括ケア病床	○	76.1	56.0	61.1	64.3	65.4	76.7	85.5	△8.8
回復期リハビリ テーション病床	○	90.6	82.0	85.3	83.9	81.2	80.6	85.0	△4.4
ホスピス病床	○	47.5	37.8	31.6	34.1	37.4	49.3	72.7	△23.4
1日平均外来患者数(人)	○	539.6	506.6	523.9	520.6	528.0	521.7	520.0	1.7
1日平均健診者数(人)	○	51.8	49.5	52.1	52.2	52.5	52.9	50.7	2.2
入院患者1人1日当たり単 価(円)	○	47,353	50,471	51,286	54,264	55,442	56,598	54,285	2,313
一般病床	○	55,767	57,069	57,866	61,477	64,238	68,843	66,000	2,843
地域包括ケア病床	○	34,708	40,269	43,682	47,137	38,938	39,379	38,000	1,379
回復期リハビリ テーション病床	○	29,877	34,560	33,625	32,925	33,526	31,976	35,000	△3,024
ホスピス病床	○	42,242	40,890	43,035	44,905	58,588	42,200	44,000	△1,800
外来患者1人1日当たり単 価(円)	○	13,774	14,875	14,616	14,373	14,394	14,290	14,500	△210
健診者1人1日当たり単 価(円)	○	21,630	22,074	22,728	23,762	24,849	25,776	24,567	1,209

7. 収支計画

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

区 分	年 度	記載 有無	令 和 元年度 (2019年度)	令 和 2年度 (2020年度)	令 和 3年度 (2021年度)	令 和 4年度 (2022年度)	令 和 5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)		
								計 画	増 減	
経常 収益	医業収益	○	6,165	5,998	6,143	6,471	6,739	6,896	6,924	△28
	(1) 入院収益	○	4,178	3,978	4,096	4,460	4,688	4,878	4,874	4
	(2) 外来収益	○	1,784	1,831	1,853	1,818	1,847	1,812	1,832	△20
	(3) その他医業収益	○	203	189	194	193	204	206	218	△12
	うち他会計負担金	○	50	50	57	57	57	57	57	0
	健診収益	○	320	292	335	359	373	384	348	36
	医業外収益	○	1,193	2,061	2,220	2,107	1,575	1,173	1,051	122
	(1) 他会計負担金	○	435	443	463	486	482	595	488	107
	(2) 他会計補助金	○	304	530	445	366	386	143	143	0
	(3) 国県補助金	○	6	602	800	757	214	10	7	3
	(4) 長期前受金戻入	○	414	448	464	463	453	384	383	1
	(5) その他	○	34	38	48	35	40	41	30	11
経常収益 (合計)	○	7,678	8,351	8,698	8,937	8,687	8,453	8,323	130	
経常 費用	医業費用	○	7,415	7,736	7,789	8,079	8,263	8,370	8,273	97
	(1) 職員給与費	○	4,002	4,138	4,189	4,302	4,350	4,517	4,435	82
	(2) 材料費	○	1,282	1,320	1,328	1,402	1,534	1,571	1,506	65
	(3) 経費	○	1,127	1,245	1,228	1,336	1,356	1,402	1,439	△37
	(4) 減価償却費	○	958	997	1,000	993	987	840	843	△3
	(5) その他	○	46	36	44	46	36	40	50	△10
	健診費用	○	186	187	199	215	212	219	222	△3
	(1) 職員給与費	○	130	130	138	147	142	148	148	0
	(2) 材料費	○	5	6	6	7	8	7	7	0
	(3) 経費	○	34	34	39	44	46	50	52	△2
	(4) 減価償却費	○	17	17	16	17	16	14	15	△1
	医業外費用	○	454	378	375	386	402	421	426	△5
(1) 支払利息	○	64	63	62	61	60	59	60	△1	
(2) その他	○	390	315	313	325	342	362	366	△4	
経常費用 (合計)	○	8,055	8,301	8,363	8,680	8,877	9,010	8,921	89	
経常損益 (△経常損失)	○	△377	50	335	257	△190	△557	△598	41	
特別利益	○	1	0	0	0	8	0	0	0	
特別損失	○	0	0	64	0	0	0	0	0	
純損益 (△純損失)	○	△376	50	271	257	△182	△557	△598	41	
純損益 (△純損失) 累計額 (資本剰余金処分額等含む)	○	△2,199	△2,119	△1,822	△1,536	△1,681	△2,238	△2,542	304	

## ○収支について

➤給与改定や物価高騰の影響等により、給与費及び材料費で増加しましたが、医業収益と健診収益とで計画額を確保することができたことに加えて、給与改定に対する他会計負担金（繰入金）の交付を受けたことで、計画を上回りました。

## ○入院収益について

➤患者数は下回りましたが、診療単価が上回ったことで、計画を上回りました。

## ○外来収益について

➤診療単価が下回ったことで、計画を下回りました。

## ○その他医業収益について

➤患者数が下回ったことで、個室料金が減少し、計画を下回りました。

## ○医業外収益について

➤給与改定に対する他会計負担金（繰入金）が増加したことで、計画を上回りました。

## ○職員給与費について

➤人事院勧告に準拠した給与改定を実施したことで、計画を上回りました。

## ○材料費について

➤物価高騰の影響等により、材料費のうち、診療材料費が増加したことで、計画を上回りました。

## ○経費について

➤電気料金、消耗品費及び賃借料等が減少したことで、計画を下回りました。

## (2) 資本的収支

(単位：百万円)

区分	年度	記載有無	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
								計画	増減	
収入	企業債	○	616	81	49	130	100	198	240	△42
	他会計負担金	○	147	465	454	384	474	241	240	1
	その他	○	661	199	75	55	54	58	30	28
	収入(計)	○	1,424	745	578	569	628	497	510	△13
支出	建設改良費	○	1,040	260	118	180	148	280	290	△10
	企業債償還金	○	110	697	709	694	951	461	461	0
	その他	○	147	149	115	112	53	72	47	25
	支出(計)	○	1,297	1,106	942	986	1,152	813	798	15
差引不足額	○	127	△361	△364	△417	△524	△316	△288	△28	
補填財源	○	0	361	364	417	524	316	288	28	
企業債残高	○	13,155	12,540	11,879	11,315	10,464	10,201	10,243	△42	

## (3) 繰入金の見通し

(単位：百万円)

年度 区分	記載 有無	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和6年度(2024年度)		
							計 画	増 減	
収益的収入	○	785	1,019	960	905	918	787	681	106
うち基準内繰入金	○	485	493	520	543	539	651	545	106
うち基準外繰入金	○	300	526	440	362	379	136	136	0
資本的収入	○	147	536	462	384	474	241	240	1
うち基準内繰入金	○	147	465	454	384	474	241	240	1
うち基準外繰入金	○	0	71	8	0	0	0	0	0
合 計	○	932	1,555	1,422	1,289	1,392	1,028	921	107
うち基準内繰入金	○	632	958	974	927	1,013	892	785	107
うち基準外繰入金	○	300	597	448	362	379	136	136	0